
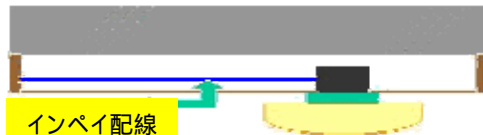




最終更新日 H24.10.24

改修技術 No. 11311102

性能分野	耐久性・耐用性
大分類	天井高の確保
中分類	設備配管配線スペースの縮小
技術の名称	薄型配線システム工法(コンクリート直天井面における平形保護層工事)
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薄型配線システム工法は、平形導体合成樹脂絶縁電線をコンクリート天井面に直接貼り付けるもので、好みの位置に配線することが可能である。このため、リフォームの際にプランに応じて照明の位置を変えることができる。薄型配線の上に、天井面のクロスを貼るため、天井高さを高く確保でき、居住性が向上する工法である。</li> <li>・なお、コンクリート直天井における平形保護層工事は、人が触れるおそれのない高さ(2.3m以上)に敷設することとされている。</li> <li>・住宅のコンクリートの直天井で、コンクリート天井面の凹凸が少ない場合に施工可能である。また、最上階の天井断熱工法は外断熱方式とすることが望ましい。</li> <li>・施工手順 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薄型配線システムは、コンクリート直天井表面に施工する。</li> <li>2. クロス工事にてコンクリート表面と薄型配線ケーブルの段差をパテにて埋める。</li> <li>3. 天井面にクロスを貼る。</li> <li>4. 敷設経路表示シールを貼り付ける。</li> </ol> </li> </ul> <p>従来工法</p> <p>1) 直天井方式の場合</p>  <p>埋込配管配線</p> <p>2) 二重天井方式の場合</p>  <p>インベイ配線</p> <p>薄型配線システムの場合</p>  <p>平形保護層工事 とクロス貼り</p> <p>写真1 平形保護層工事の施工</p>  <p>写真2 平形保護層工事の施工後(クロス貼り前)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事期間(施工準備~施工~検査~施工完了) 電気工事:1日、クロス工事:1日</li> <li>・改修後の性能 居住性向上</li> </ul>

